

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【公開番号】特開2013-24904(P2013-24904A)

【公開日】平成25年2月4日(2013.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-006

【出願番号】特願2011-156489(P2011-156489)

【国際特許分類】

G 09 G	5/00	(2006.01)
G 09 G	5/14	(2006.01)
G 09 G	5/38	(2006.01)
G 09 G	3/20	(2006.01)
G 06 F	3/14	(2006.01)
G 09 G	5/36	(2006.01)

【F I】

G 09 G	5/00	5 1 0 V
G 09 G	5/14	Z
G 09 G	5/00	5 5 0 C
G 09 G	5/00	5 5 0 X
G 09 G	5/38	Z
G 09 G	3/20	6 6 0 F
G 09 G	3/20	6 6 0 C
G 09 G	3/20	6 6 0 E
G 09 G	3/20	6 5 0 C
G 06 F	3/14	3 5 0 B
G 09 G	5/36	5 2 0 K
G 09 G	5/36	5 2 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月22日(2014.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の映像を表示手段の複数の表示領域に表示する映像表示装置であつて、
前記複数の映像に対応する複数の映像信号を入力する複数の入力手段と、

前記表示手段の姿勢変更を検出する検出手段と、

前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像の表示解像度を制御する解像度制御手段と、

前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像の表示位置を制御する表示位置制御手段と、

前記表示位置制御手段の制御指令に従つて、前記複数の映像信号と前記表示手段における複数の表示領域との間の対応関係を変更することにより、前記複数の映像の表示位置を並べ替える映像配置変更手段を備えることを特徴とする映像表示装置。

【請求項2】

前記複数の映像信号に対する表示可能な解像度の情報を記憶する表示解像度記憶手段を

さらに備え、

前記解像度制御手段は、前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記表示可能な解像度の情報を書き換え、前記映像信号を出力する映像出力装置は前記表示可能な解像度の情報を参照することを特徴とする請求項1に記載の映像表示装置。

【請求項3】

複数の映像を表示手段の複数の表示領域に表示する映像表示装置であって、
前記複数の映像に対応する複数の映像信号を入力する複数の入力手段と、
前記表示手段の姿勢変更を検出手段と、
前記検出手段により前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像信号に
係る映像を回転させる処理を行う映像回転手段と、
前記映像回転手段によって回転された映像のサイズと前記表示領域のサイズを比較して、
映像を拡大又は縮小する処理を行うスケーリング手段と、
前記映像回転手段による映像の回転及び前記スケーリング手段による映像の拡大又は縮
小の処理が施された映像を前記表示手段の中央部に寄せる位置変更手段と、
前記位置変更手段に出力する複数の映像信号と前記表示手段における複数の表示領域と
の間の対応関係を変更することにより映像を並べ替える映像配置変更手段を備えることを
特徴とする映像表示装置。

【請求項4】

前記表示手段の複数の表示領域に対して複数の映像信号を出力する複数の出力手段をさ
らに備え、

前記映像配置変更手段は、前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された
場合、前記複数の入力手段と前記複数の出力手段との接続関係を変更することを特徴とす
る請求項1ないし3のいずれか1項に記載の映像表示装置。

【請求項5】

前記検出手段は前記表示手段の回転を検出して該表示手段が横長に設置された状態である
か、または前記表示手段が縦長に設置された状態であるかを検出し、

前記映像配置変更手段は、前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された
場合、前記複数の入力手段と前記複数の出力手段との接続関係を変更し、前記表示手段が
回転された方向とは反対方向に前記複数の映像の表示位置を変更することを特徴とする請
求項4に記載の映像表示装置。

【請求項6】

複数の映像を表示手段の複数の表示領域に表示する映像表示装置にて実行される制御方
法であって、

前記映像表示装置が備える複数の入力手段が、前記複数の映像に対応する複数の映像信
号を入力する入力ステップと、

前記表示手段の姿勢変更を検出手段と、

前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像の表示
解像度を制御する解像度制御ステップと、

前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像の表示
位置を変更することにより、前記複数の映像の表示位置を並べ替える映像配置変更ステップを
有することを特徴とする映像表示装置の制御方法。

【請求項7】

前記映像表示装置が備える記憶手段が、前記複数の映像信号に対する表示可能な解像度
の情報を記憶する表示解像度記憶ステップをさらに有し、

前記解像度制御ステップでは、前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検
出された場合、前記表示可能な解像度の情報を書き換え、前記映像信号を出力する映像出
力装置は前記表示可能な解像度の情報を参照することを特徴とする請求項6に記載の映像
表示装置の制御方法。

【請求項8】

複数の映像を表示手段の複数の表示領域に表示する映像表示装置にて実行される制御方

法であって、

前記映像表示装置が備える複数の入力手段が、前記複数の映像に対応する複数の映像信号を入力する入力ステップと、

前記表示手段の姿勢変更を検出する検出ステップと、

前記検出ステップにて前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像入力信号に係る映像を回転させる処理を行う映像回転ステップと、

前記映像回転ステップにて回転された映像のサイズと前記表示領域のサイズを比較して、映像を拡大又は縮小する処理を行うスケーリングステップと、

前記映像回転ステップでの映像の回転及び前記スケーリングステップでの映像の拡大又は縮小の処理が施された映像を前記表示手段の中央部に寄せる位置変更ステップと、

前記位置変更ステップで得られた複数の映像信号と前記表示手段における複数の表示領域との間の対応関係を変更することで映像を並べ替える映像配置変更ステップを有することを特徴とする映像表示装置の制御方法。

【請求項 9】

前記映像表示装置が備える複数の出力手段が、前記表示手段の複数の表示領域に対して複数の映像信号を出力する出力ステップをさらに有し、

前記映像配置変更ステップでは、前記検出ステップによって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の入力手段と前記複数の出力手段との接続関係を変更することを特徴とする請求項 6 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の映像表示装置の制御方法。

【請求項 10】

前記検出ステップでは、前記表示手段の回転を検出して該表示手段が横長に設置された状態であるか、または前記表示手段が縦長に設置された状態であるかを検出し、

前記映像配置変更ステップでは、前記検出ステップによって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の入力手段と前記複数の出力手段との接続関係を変更し、前記表示手段が回転された方向とは反対方向に前記複数の映像の表示位置を変更することを特徴とする請求項 9 に記載の映像表示装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の一実施形態の映像表示装置は、複数の映像を表示手段の複数の表示領域に表示する映像表示装置であって、前記複数の映像に対応する複数の映像信号を入力する複数の入力手段と、前記表示手段の姿勢変更を検出する検出手段と、前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像の表示解像度を制御する解像度制御手段と、前記検出手段によって前記表示手段の姿勢変更が検出された場合、前記複数の映像の表示位置を制御する表示位置制御手段と、前記表示位置制御手段の制御指令に従って、前記複数の映像信号と前記表示手段における複数の表示領域との間の対応関係を変更することにより、前記複数の映像の表示位置を並べ替える映像配置変更手段を備える。